4/26

天国に**夜はない。**そこには**神の栄光という光が輝いているから**だ。もはや、眠るための夜という時間は必要ではなくなる。なぜならあなたの栄化されたからだは常にエネルギーで満ちているからだ。疲労は、この世界で人々が戦わなければならない、おもな問題の一つである。特に老いや病が進みつつある人々にとっては、なおさらそうである。しかし天国に疲労や倦怠というものはなく、ゆえに眠りも必要とはされない。

天の栄光の光は完璧であり、輝きに満ちている。その中には一点の影もない。そこには罪も全くなく、隠すべきものは何もない。あなたはその栄化された目で、これまでに見たことがないほど、あらゆるもののすべてを見るだろう。色彩はますます鮮やかに、人々の表情もますます活気に満ちて見えるだろう。あなたはわたしの顔も、完全に見ることができるようになるだろう。それはわたしの栄光が通り過ぎる間、岩の裂け目に顔を隠さなければならなかったモーセよりはるかに良い体験となるだろう。モーセには、ただわたしの背中を見ることだけが許されたが、あなたにはそのような制限は何一つ課されないであろう。天国ではあなたは**顔と顔を合わせてわたしを見る**だろう。あらゆる栄光のうちに輝くこのわたしを、完全に。

【新改訳 2017】
黙示録 21:23 都は、これを照らす太陽も月も必要としない。神の栄光が都を照らし、子羊が都の明かりだからである。
黙示録 21:25 都の門は一日中、決して閉じられない。そこには夜がないからである。
Ⅰヨハネ 1:5 私たちがキリストから聞き、あなたがたに伝える使信は、神は光であり、神には闇が全くないということです。
出エジプト 33:22 わたしの栄光が通り過ぎるときには、わたしはあなたを岩の裂け目に入れる。わたしが通り過ぎるまで、この手であなたをおおっておく。
出エジプト 33:23 わたしが手をのけると、あなたはわたしのうしろを見るが、わたしの顔は決して見られない。」
Ⅰコリント 13:12 今、私たちは鏡にぼんやり映るものを見ていますが、そのときには顔と顔を合わせて見ることになります。今、私は一部分しか知りませんが、そのときには、私が完全に知られているのと同じように、私も完全に知ることになります。